

事業群評価調査(平成29年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	文化観光国際部国際課
施策名	(3) 海外活力の取り込み	課(室)長名	大安 哲也
事業群名	国際交流機能の充実・強化	事業群関係課(室)	学事振興課、文化振興課

1.計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 本県は、「出島」をはじめとして世界に開かれ発展してきた歴史があり、今後もアジアに近いという強みを活かし、海外の活力を取り込むことで地域を元気にするため、国際交流の拠点づくりや地域で活躍する国際人材の育成・活用を進めます。						(取組項目))外国人観光客や留学生等が集い、多くの人と交流する場の創出)子どもたちが外国語を体験し、学べる場の創出)海外アーティストの招聘など、世界の最先端の文化等に出会える機会の創出)留学生やJET青年(ALT、CIR)が活躍する場の創出 JET The Japan Exchange and Teaching Programme :語学指導等を行う外国青年招致事業で、総務省、外務省、文部科学省、(一財)自治体国際化協会が協力して実施 ALT Assistant Language Teacher :主に学校、または教育委員会に配属される外国語指導助手 CIR Coordinator for International Relations :主に地方公共団体の国際交流担当部局等に配属される国際交流員					
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	(進捗状況の分析) 中国長崎同学会との現地での意見交換会の実施や平成28年2月19日にベトナムのホーチミン市において長崎県内の大学で学んだ帰国留学生のネットワークとして、ベトナム長崎同窓会が設立されたことから交流人数の増加に繋がっている。中国長崎同学会151名、ベトナム長崎同窓会46名 さらに、県内在住の外国人や、かつて居住していた外国人など、本県にゆかりのある外国人を主な対象とした多言語(日本語、中国語、韓国語、英語、ベトナム語)によるウェブサイト「出島ネットワーク」においても1,424名が会員となっており、月1回のメールマガジン配信などを行っている。					
事業群	帰国後の元留学生等交流人数	300人	140人	137人	97%						
関連指標その他											

2.28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業
			H28実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率		
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標	—	—		
取組項目	留学生受入対策事業	H23-	4,405	4,405	1,608	長崎留学生支援センター他	留学生と共に地域の国際化を図るため、産学官が一体となって開設した長崎留学生支援センターに県も参画し、留学生の就職支援、生活支援、募集・広報支援等の留学生受入促進策を実施	活動指標	大学と関係機関との情報交換会の実施数(回)	2	2	100%	留学生支援センターを中心に県内大学等と連携し、中国やベトナムでの留学説明会をはじめ各種の留学生支援事業を実施。また新たに留学生向けの文化体験プログラムを実施し、留学生目線の長崎の魅力情報を発信することで長崎ファンの増加及び留学生の受入促進を図った。	○
									2	—	—			
	国際課	H23-	4,573	4,573	1,614			成果指標	県内外国人留学生数(人)	1,450	1,476	101%		
									1,450	—	—			
	私立大学・短期大学外国人留学生支援事業	H23-	23,566	23,566	1,608	学校法人(大学・短大)	県内の私立大学・短期大学を設置する学校法人が実施する外国人留学生支援策に対して、その経費の一部を助成することにより、留学生受入数の確保、国際交流の推進を図った。	活動指標	留学生受入大学等数(校)	7	6	85%	県内の私立大学・短期大学を設置する学校法人が実施する外国人留学生支援策等に対して助成することで、留学生の受入れ促進に寄与した。	
									6	—	—			
	学事振興課		27,000	27,000	1,614		成果指標	私立大学等留学生数(人)	889	894	100%			
									894	—	—			

取組項目	長崎県ゆかりの外国人ネットワーク推進事業費	H20-	3,698	3,698	2,412	県内外の本県ゆかりの外国人	長崎県にゆかりのある外国人(留学生、JETプログラム参加者、駐在員等の長崎県在住の外国人、そのOB・OGを中心とした長崎県に居住経験のある外国人、その他海外県人会会員等)を対象としたネットワークを築き、有用な情報提供を行った。	活動指標	会員数(人)	1,400	1,424	101%	既存の4ヶ国語(日・英・中・韓)によるレギュラーコーナーの更新や写真コンテストの開催等を行いコンテンツを充実させた。また、会員へのアンケートシステムを追加し、より会員ニーズにあった情報発信を行うため、アンケートを実施した。	
	国際課		3,634	3,634	2,422			成果指標	アンケートの県の施策の反映数(件)	1,500	—	—		
										2	—	—		
	国際交流協会助成事業費	H2-	14,681	12,284	1,608	(公財)長崎県国際交流協会	(公財)長崎県国際交流協会が県の補助事業を行うにあたり、該当事業(国際理解講座、海外移住事業、外国人支援事業)の事業費及び県の補助事業分に相応する人件費及び家賃を補助した。	活動指標	国際理解講座開催数(回)	6	7	116%	(公財)長崎国際交流協会で、国際理解講座、海外移住関連事業、外国人支援事業などを行った。	
	国際課		14,880	12,210	1,614			成果指標	国際理解講座参加者数(人)	280	310	110%		
										280	—	—		
	海外技術研修員受入事業	S48-	6,125	6,125	2,412	海外技術研修員	将来、自国の中堅指導者となりうる者を招き、必要な技術を習得させ、当該国の経済開発と繁栄に貢献しうる人材を養成するとともに、県民との接触を通じて相互理解、友好親善の促進を図った。	活動指標	海外技術研修員の受入人数(人)	4	4	100%	平成28年度については中華人民共和国2名、ベトナム社会主義共和国1名、ブラジル連邦共和国1名の計4名を受け入れ、約7ヵ月間(8月下旬来日、3月上旬帰国)の研修を実施した。	
	国際課		8,630	8,630	2,422			成果指標	受入機関の満足度(%)	80	90	112%		
										80	—	—		
取組項目	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	(H29新規)H29	-	-	-	県内高校生及び大学生、中国人親子	地元で頑張る若者の育成及び国内外において本県応援団となり得る人脈を構築し民間におけるアジア・国際戦略の担い手を育成する。	活動指標	支援した日本人学生数(人)	—	—	—	—	
	国際課		9,960	8,960	4,360			成果指標	支援学生のうち県内就職した割合(%)	20	—	—		
										50	—	—		
	語学指導等外国青年招致事業	S62-	31,888	0	4,825	語学指導等を行う外国青年(JETプログラム参加者)	語学指導や翻訳・通訳等を行う外国青年を招致し、地域における国際化の推進を図った。	活動指標	県国際交流員による講座の開催数(回)	36	32	88%	平成28年度は県配置JET青年計57名(CIR3名、ALT51名、SEA3名)、市町配置JET青年計134名(CIR12名、ALT122名)、県内で合計191名を受け入れた。	。
	国際課		31,178	0	4,844			成果指標	県国際交流員による講座の受講者数(人)	36	—	—		
										540	700	129%		
										540	—	—		
	世界へこぎ出せ!長崎っ子応援事業	(H28終了)H24-28	4,580	4,186	4,360	長崎県内の中学2年生	長崎県の中学生を海外に派遣し、国際機関等への訪問や地元青少年との交流を通じて、世界情勢や他国の歴史・文化について学習するとともに、そこで働く日本人の話を聞くことにより、将来に向けて志を高く持つきっかけを作った。	活動指標	国際的感覚を高めるため国際機関や自治体等視察先数(箇所)	4	4	100%	国際機関で働く日本人職員、地元自治体職員及び地元青少年との交流により、国際社会で活躍する意識を高めることができた。	
	国際課		—	—	—			成果指標	派遣者の国際的視野の高まり(%)	4	—	—		
										80	91	113%		
取組項目	地域発「ながさき文化のちから」創生事業(アーティスト・イン・アイランド)	H28-29	553	0	1,609	地域実行委員会	在京都フランス総領事館及びアンスティチュ・フランス関西から紹介を受けたフランス人アーティスト計3名を12/2～4五島市、3/6～8巻岐市に招聘した。	活動指標	招聘アーティスト数(人)	3	3	100%	優れた文化芸術に触れる機会の少ない離島地域において、海外アーティストとの交流やワークショップなどを実施することにより、地域住民に世界最先端の文化芸術に出会える機会を作った。また、アーティストがSNSで紹介したことにより、本県離島の魅力を発信することができた。	。
										3	—	—		
			815	0	1,615			成果指標	アーティストとの交流機会の数(件)	9	9	100%		
	文化振興課									9	—	—		

3.実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

)外国人観光客や留学生等が集い、多くの人と交流する場の創出

民間団体の国際交流事業の活動拠点である国際交流協会への支援、留学説明会などでの元留学生等との意見交換の実施、長崎にゆかりのある外国人を対象としたウェブサイトやメールマガジンの発信により交流の促進を図った。
今後も引き続き、構築した人的ネットワークの維持を図るとともに、民間団体が行う国際交流事業への支援等を実施し交流の場の創出を図る。

)子どもたちが外国語を体験し、学べる場の創出

JETプログラムにより受け入れたALT(外国語指導助手)が各学校(地域)において外国語授業の補助などを行うとともに、CIR(国際交流員)が各地方公共団体において国際交流事務補助や地域住民への語学指導を行っている。また、県内中学生を海外へ派遣し、国際機関等の訪問や地元青年等との交流により国際社会で活躍する意識の高揚を図った。
今後、小学校において「外国語」が教科となることから、市町のJETプログラムによるALTやCIRの招致増加も予想されることから、引き続き今後もJET青年のスムーズな招致や市町のサポートに取り組む。

)海外アーティストの招聘など、世界の最先端の文化等に出会える機会の創出

28年度に招聘した3人のフランス人アーティストからは、本県離島について高い評価を得ることができた。在京都フランス総領事館が事業継続の意向を示していることから、今後も実績の積み重ねによる信頼関係の構築に努めるとともに、本県離島の魅力をしっかりとアーティストに伝えていく。また、長崎外国語大学や語学堪能な民間人材などのサポートを得て、継続的にアーティストを受け入れることが可能な体制を整備することにより、引き続き、離島地域で優れた文化等に触れる機会を創出するとともに、国際文化交流への発展を目指す。

)留学生やJET青年(ALT、CIR)が活躍する場の創出

H28年度は中国、ベトナムでの現地留学説明会を実施したが、留学生増加には継続した取組が必要であり、引き続き現地での留学説明会の実施と県内の私立大学・短期大学の実施する外国人留学生受入の取組に対して助成を行う。なお、留学説明会については、開催時期や他の事業との連携し、より効果が期待できるような実施を検討する。
また、国際交流協会主催の国際協力・交流フェスティバルでのJET参加者と県民の交流、JET参加者の企画・運営により県内小学生との交流を実施した。引き続きイベントへの参加等により、県民との交流の機会を創っていく。

4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	留学生受入対策事業	留学体験ツアーについて文化体験プログラムなど既存事業との効果的な実施を検討する。	—	留学生支援センターによる各種の留学生支援を継続する。 また、留学説明会の実施時期、対象学生について、より留学に結びつくような事業実施の検討と、中国長崎同学会やベトナム長崎同窓会を活用した、長崎留学の魅力発信を検討する。	現状維持
	私立大学・短期大学外国人留学生支援事業	—		平成28年度の補助対象項目の見直しによる効果と補助対象者の意見等を参考に、予算配分や対象経費の見直しを行うことで、より効果的な事業の構築を目指す。	改善
	長崎県ゆかりの外国人ネットワーク推進事業費	会員のニーズにより対応した情報発信(海外で開催される本県ゆかりのイベント、物産展、観光展を会員の出身国別に情報提供する等)を検討していく。	—	現在の5ヶ国語(日・英・中・韓・ベトナム)による情報発信を継続するとともに、会員アンケートを実施し、会員ニーズに対応した情報発信になるよう内容及びコンテンツの充実を検討する。	現状維持
	国際交流協会助成事業費	—	—	民間団体による国際交流事業の拠点として、県内への広がりのある活動が継続できるよう、県としても引き続き財政支援を実施する。	現状維持
	海外技術研修員受入事業	—	—	引き続き基本的な事業スキームを維持し、派遣国と本県との友好親善・経済交流の促進を図ること及び必要な技術の修得により、派遣国の発展に寄与する人材を育成する。	現状維持
取組項目	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	「H29新規」 地元で頑張る若者の育成及び国内外において本県応援団となり得る人脈を構築し民間におけるアジア・国際戦略の担い手を育成する。		県内工業高校等の生徒を対象とした海外の造船所の訪問や職員との意見交換等の研修の成果を検証し、より地元で頑張る若者の育成につながるよう、事業内容を検討する。	改善
	語学指導等外国青年招致事業	—	—	JET青年の大半を占めるALTについては、新たに小学校で「外国語」が教科となることもあり、従来以上にその活躍が期待されており、県内市町は前年度同程度かそれ以上の数のJET青年を招致することが予想される。CIRについても、H29新たに設置する市もあるなど、その重要性が増しており、今後もJET青年のスムーズな招致や市町のサポートに取り組む必要がある。	現状維持
取組項目	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (アーティスト・イン・アイランド)	29年度は、交流国数と芸術分野の拡充を図ることにより、地域住民が最先端の文化等に出会える機会の創出と受入体制の整備を図る。(スペイン大使館からもアーティストの紹介を受けることができるよう協議済み)		各国大使館等との協議により継続してアーティストの紹介を受ける仕組みができる見込みであることから、一旦事業を終了する。30年度は、地元アーティストや地域住民との国際文化交流を継続することができるよう、国制度等を活用したアーティスト・イン・レジデンス(滞在型の芸術作品創作事業)に繋げることを検討したい。	終了